

# 堺IPC

SAKAI CITY  
INDUSTRIAL  
PROMOTION CENTER

[www.sakai-ipc.jp](http://www.sakai-ipc.jp)

# PRESS

企業を元気に、情熱系  経営マガジン

2017.7

VOL.  
**44**

● 特集

株式会社ナテック / 株式会社野田工業

## こんなところに、堺のチカラ

- 「継ぐ」極意 ..... ⑤  
自らが技術者でないからこそ、  
女性のしなやかさで“育てる”経営へ。  
有限会社吉谷製作所 吉谷 真美さん
- 堺のすご腕 ..... ②③  
万に一つも不良を見逃さない解析力  
株式会社クオルテック
- SAKAIの傑作 ..... ①  
高い安全性と機能を備えた  
ポータブル蓄電池  
トヤマキカイ株式会社

古くは仁徳天皇陵の築造時に、鉄の加工技術を持つ職人たちが住みついたとされる堺市。その技術がやがて時代を経て、世界に誇る打刃物や自動車部品などを生み出しました。今では、多種多様な産業領域に広がる堺のものづくり。誌面リニューアル第一回の特集は、「誰もが知っているあの製品に、堺のチカラが生かされていた」という企業2社をご紹介します。

## アメリカで見た風景にヒントを得て いち早くカード事業をスタート

磁気カードやバーコードカードをはじめ、クレジットカードに代表される接触型ICカード、非接触型の交通系ICカードなど、今では一枚も持たぬ人はいないのではないかと思うほど、カードが社会に浸透しています。これらカードのほぼ全種類を製造しているのが堺区に本社を置く(株)ナテック。カー

CASE

# 01

## 株式会社ナテック

執行役員・生産本部長 清水 貴弘

「専門メーカーとしては国内最大手で、生産枚数、案件数ともに国内で3本の指に入るシェアを誇っています。」

同社は1968年に、箔押しを主体とした特殊印刷による販促プレートの製造販売事業で創業しました。1970年代後半、新事業のアイデアを求めて旅に出た創業者の村上武明氏が、アメリカのガソリンスタンドで目にしたのは、カードで支払いを決済する風景でした。「これからの時代は、カードだ！」と確信して帰国。すぐにカード事業に乗り出したといいます。

「しかし、その頃の日本ではカードが一般的でなく、当社も手探り状態で、まずカードを製造するための設備づくりからのスタートでした」と清水貴弘執行役員。会員証のようなリーダーに通さないカードに始まり、やがて磁気カードやネットワークでつながるカードへと長い年月をかけて製造技

術を取得していきました。今では、独自のカードリーダーライターや顧客情報の管理ソフトウェア、さらには偽造防止システムの開発へと、顧客が「今、求めるもの」に応えて、技術革新を進めています。



全自動ラミネートプレスシステムで4層に仮積層されたシート材料を熱と圧力で加熱融着して一体化させている。



ナテックでは「全工程一貫生産」を構築。品質と生産効率が安定化されるほか、セキュリティ面でも高い信頼を得ている。

**その国、その土地の文化に密着した  
提案営業で事業を拡大**

長年の実績を誇るカードメーカーとしての同社の強みを、清水執行役員は「国内外の規格を満たしているのは当然として、そのうえでお客様の『差別化を図りたい』というニーズに応えてきたことだ」と語ります。新人からベテランまでの全社員を開発部隊とし、突拍子もないアイデアもすくい上げてきたとか。今では当たり前になった仕様が、実は同社で考案されたというものも少なくないといいます。「私どもはカードを通して、お客様の『色』を開発しているんだと考えています」。

大きな企業から小さな商店まできめ細かくフォローする同社では、カードを切り口にマーケティングにまで関わっており、その地域独特の慣習や流行を加味した提案活動を得意としています。生産拠点を置く台湾

# 一枚のカードに「個性」を創る



▲カードは重要な販促ツールという考えから、カードのデザインには力を入れている。

国内で製造が認められているメーカーは数社。ナテックは、1989年にVISAカード、1997年にMasterCardの製造認定を取得している。



を中心に東南アジアや香港、中国などの海外での事業展開においても、各国それぞれのカード文化を踏まえたいうえで、「この地ではどのようなカードが必要なのかを捉える感覚を研ぎ澄ましていきたい」と清水執行役員は語っていました。

**社会や暮らしをより豊かにする  
未来のカードへ挑戦**

1985年に、創業からのナニワプレート（株）と、カード事業を担ってきたテクニカード（株）の2社を統合してナテックを設立。その折に、本社や主力工場を堺市に移転した理由について、「弊社はメーカーですから、創る人が必要不可欠です。堺なら、ものづくりに対する意識の高い人材が得られると考えました。そして、その判断は間違っていない」と語っていました。

「いままではね」と清水執行役員。社名のナテックは、統合前の社名を融合させたほかに、ギリシア神話に登場する「挑戦」という意味の言葉も由来になっているそうです。非常に高いセキュリティが求められる大手クレジットカード会社の製造認定を取得するにあたっては、工場を取り壊して更地にしたのち、認定基準を満たす設備を新設したというのも、大きな挑戦だったことでしょう。そして、同社の挑戦はまだ続きます。

「カードはあくまで、今現在の生活を豊かにするツールです。未来に向けては、今あるカードのカタチに執着していません。昔はカードだったよね」といわれるような、未来に求められるモノを創り出していきたい。それが私どもの新しい挑戦です」。

**株式会社ナテック**

代表者名／代表取締役 村上武仁  
 本社／堺市堺区南清水町2-2-22  
 TEL／072-229-9111 (代)  
 設立／1968年創業 1985年設立  
 資本金／4,775万円  
 従業員数／154名  
 事業内容／非接触ICカード、接触式ICカード、バーコードカード、磁気カードなどの製造販売、カード加工、カードリーダーライターの製造販売、顧客管理ソフトの販売  
<http://www.natec-japan.co.jp/>

### 北海道から沖縄まで取引先3百軒 旅行土産をオリジナルで企画開発

沖縄の水族館で販売されているジンベエザメの孫の手から、奈良市観光協会のマスコットキャラクター「しまろくん」のマグネットや、高野山の文字がレイアウトされたTシャツ、さらには浅草・雷門のミニ提灯に、ひこにゃんのぬいぐるみなど、誰もがどこかで見かけたことのある土産物。これらは全て、東区にある(株)野田工芸で企画開発されたものです。堺市の馴染み深いものでは、堺市博物館のミュージアムグッズのサカイタケルくんキーホルダーや犬形埴輪キーホルダー、古墳キーホルダーもまた同社製品。「北海道の札幌から南は石垣島まで、全国に300軒の間屋さんとお取引しています」と語るのは、堤敬一社長です。

1980年に創業した当時は、全国の海



沿いの観光地向けに、貝殻を使った置物やアクセサリーを製造していたとか。「当初は、フィリピンや台湾の観光地で売られていた土産物を模倣することから始まりました。昔

は熱海や白浜、宮崎など、海辺の観光地が人気でしたし、貝殻がまだ珍しい時代でしたから、よく売れましたよ」。沖縄の土産物店などでよく見かける小瓶に入った星砂も同社が考案したものです。

「土産物はアイデア勝負で、製造に特別なものづくり技術は必要ないんです」と堤社長は話しますが、以前に海外から仕入れた製品は不良品が多く、現在は、部品の製造をベトナムの自社工場で行っているものの、材料の選定・仕入から、企画デザイン、組み立てまでを同社が行っています。特に外国人観光客に、日本製は大きなアピールポイントで、日本のものづくりへの大きな信頼を実感します。

### アイデアのヒントは現地から 桜島の火山灰もお土産にアレンジ

アイデアが全てと語る同社の土産物のほ

とんどは、堤社長が「布団の中などでふっと思いついた」ものだそうで、「長く土産物に関わってきた積み重ねが引き出しとなっているんでしょうね」と話しています。ただ、流行を



さまざまな素材に絵柄をプリントする昇華転写機

## CASE

### 株式会社野田工芸

代表取締役 堤 敬一



# 「継ぐ」 極意

専務取締役  
吉谷 真美さん

吉谷賢治社長が3人の娘たちに「誰か、会社を継いでくれないか」と切り出したのは突然のことだったといえます。吉谷真美専務は、大学卒業後に就職した大手事務用品メーカーで、総合職としてやり甲斐のある仕事に就いていました。しかし「姉は手に職をつけ自分の道を歩いていたので、会社員だった私が継ぐことになったんです」。その頃、事業戦略部に籍を置き、自分で経営することへの興味も湧き始めたと言いつつ、吉谷専務。「父の会社のことは何一つ知りませんが、やると決めたからには前進あるのみと決意しました」。

しかし、2009年に入社してびっくりしたのは、旧態依然とした社内の仕組み。「長年の経験による」記憶に頼るのではなく、体系的に「記録」されるシステムを作り、生産効率の向上を図ることにしました。手書き伝票に代わって自ら生産管理システムをつくりあげたそうです。

急激な変革が、新旧経営者の衝突につながるケースもしばしばありますが、吉谷社長は「専務が楽しく仕事ができる環境を作ってやるのが私の役目。女性だからという不安も全くありませんでした」と温かく見守っています。

「父と比べて技術が未熟な私だからこそ、社員一人ひとりの力を高めることが、次代を担う私の責務かなと思っています」と語る吉谷専務。ただ、社長から言われた「従業員を守る」と「これだけは変えない」と心に決めていきます。

自らが技術者でないから、  
女性のしなやかさで、  
育てる、経営へ。



## 有限会社吉谷製作所

本社 / 堺市西区山田2-74-1 TEL / 072-275-0051

1951年の創業(1961年に法人化)。工作機械や産業機械などの特殊精密部品の製造加工を行う。切削を主体としながら、ねじ加工や焼き付け加工、メッキ処理までを一貫して請負い、完成部品で納品できるのが強み。  
<http://www.yositani.co.jp/>



# ギフトには「伝統と匠のふるさと 堺」をご利用ください



堺伝統産業会館では、堺の名品を集めたギフトカタログの商品の一部を入れ替えリニューアルしました。堺の「匠の技」が詰まった233品目を厳選して掲載していますので、ご自宅用としてはもちろん、大切な方への贈り物に是非ご利用ください。

なお、掲載商品の一部は館内にて展示・販売しています。

**申込み方法** FAX・郵送注文書またはインターネット (<http://www.emallsakai.com/>) でお申し込みください。

**配架先** 堺市役所市政情報センター、各区役所市政情報コーナー、堺市立図書館、観光案内所、堺市産業振興センター、堺伝統産業会館等 ※カタログは、堺伝統産業会館のホームページでもご覧いただけます。

**お問合せ** 堺伝統産業会館 〒590-0941 堺市堺区材木町西1-1-30  
TEL 072-227-1001 / FAX 072-227-5006 / URL <http://www.sakaidensan.jp/>

## 今年の注染アロハシャツ

堺市産業振興センターでは、今年も堺注染和晒興業会が「注染」技法を用いて作った、オリジナルの新作シャツの販売を行います。

「注染」技法で作られた生地は、通気性・吸水性にすぐれ、肌ざわりがやわらかいことから、日本の夏には欠かせないもの。

今年の夏は、注染アロハシャツで涼しくお過ごしください。



▲ネイビー

▲イエロー

※写真はどちらも女性用

**金額** 11,000円(税込)

**販売店** 観光案内所(堺東・堺駅)、堺伝統産業会館

**サイズ** S~4L ※ご来店前に、在庫状況をご確認ください。

~注染和晒~ 江戸時代の初め(17世紀)に堺市の石津川沿いでは、水や日光といった自然が豊かなこと、綿織物の特産地であった泉州が近いこともあり、ゆかたや手拭いの生地である「和晒」の大産地として発展しました。のちに「注染」という伝統技術と結びつき、堺は「晒」と「染色」を一貫してできる全国でも稀な地域になりました。手染め注染には、表現力の優れた「ぼかし技術」があり、微妙なタッチや奥深さが味わえ、使い込むほどに手染めの風合いがでてくるのが特徴です。

## 堺の伝統産業「注染和晒」の魅力を手で感じる『てぬぐいフェス』を開催します!!

市内の織物染色企業で構成している堺注染和晒興業会では、この伝統産業を継承する様々な取り組みを行なっています。その取り組みの一環として、今回初めての試みとなる『てぬぐいフェス』を開催します。このイベントでは「ハワイアン」をテーマに注染和晒で染めあげた夏の風物詩である「手ぬぐい」と「ハワイ」をコラボし、手ぬぐいの新しい可能性を提案します。

手ぬぐいをアクセントにしたフラダンスやウクレレ演奏などユニークなステージも見どころです。詳しくは、てぬぐいフェス実行委員会ホームページをご覧ください。



◀てぬぐいフェスHP

### イベント概要

**【日時】** 平成29年8月20日(日) 10時~17時

**【場所】** 堺市市民交流広場(南海高野線 堺東駅 徒歩5分)  
(堺地方合同庁舎前) 〒590-0078 堺市堺区南瓦町3番1号

**【入場料】** 無料

**【主催】** 和継会 堺注染和晒興業会 てぬぐいフェス実行委員会



▲手ぬぐい作成の様子



### フェス内容

**【展示・体験ブース出展予定】** ■手ぬぐいワークショップ ■子供向け染め体験(和継会) ■注染の実演を含む染め体験 ■その他ハワイアンワークショップを予定 ■手ぬぐい、浴衣の(使い方・製造工程等)展示

**【飲食・物販ブース出展】** ■手ぬぐいオリンピック出品作品の販売 ■手ぬぐい物販ブース

■他20ブース程度出展予定(ハワイアンBBQ、ハンバーガー、他ハワイにちなんだ飲食ブース、ハワイアン雑貨など)

**【ステージで行われるイベント予定】** ■フラダンスパフォーマンス ■ウクレレ演奏 ■手ぬぐい体操

■ハワイアンライブ&パフォーマンス ■じゃんけん大会など

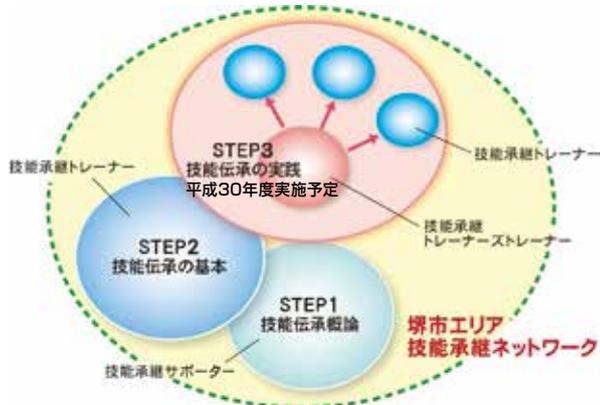
# 平成29年度 技能承継実践塾7月20日(木)開講!!

技能承継実践塾オフィシャルサイト <http://ginouken.com/SAKAI29/Jyuku.html> 堺市 技能承継 検索 [CLICK!](#)

平成28年度の技能承継実践塾は好評のうちにSTEP1～STEP3を終了しました。今年度、この機会に是非受講ください!!

技能承継実践塾では3つのSTEPで、昨今のもづくり中小企業において課題とされている技術・技能・ノウハウの承継の仕組みの構築を支援すると共に、ものづくり現場のマネジメント人材の養成を図ります。

## 技能承継実践塾 全体図



STEP 1

●技術・技能承継を進めるための全体像を理解しその成功のキーは何かを学習します。●対象者：技能承継の取り組みの全体像が把握できますので経営者、技術統括者と職場のベテラン技術・技能者の受講もお勧めします。

●実施日時 7月20日(木)、8月3日(木) 各13:30～17:30

STEP 2

●技能承継推進者として実践的かつ中核的な内容を学びます。特に技術・技能承継のツールである「能力マップ」「技術・技能伝承計画」「技術・技能マニュアル」等実践的なスキルを習得します。●対象者：技術統括者とベテラン技術・技能者の組合せ受講をお勧めします。

●実施日時 8月24日(木)、9月14日(木)、10月5日(木) 各10:00～17:00

STEP 3

●平成28、29年度技能承継実践塾STEP1,2受講され技能承継の仕組みづくりに意欲的な企業に技能承継の仕組み構築と、技能承継のコア人材の養成支援を行ないます。●対象企業：受講企業をモデル企業認定、学習者を「技術技能承継マイスター」として認定します。

●実施時期 平成30年上期内全5回程度

### 【技能承継実践塾の特徴】

本講座は、以下の3つのSTEPで、技術・技能承継の基本から学び、実際の取り組み手法を習得、最終的に個別企業において技能承継の仕組みを作ると共に、技術・技能承継のコア人材の養成と認定及び堺市の技術・技能承継のモデル企業の創出を図っていきます。オフィシャルサイトで本講座の活動内容をご紹介します。

▼STEP1 技能承継の概要学習により、全体像を把握した技能継承サポーター（技能承継理解者）を育成します。

▼STEP2 技術・技能承継トレーナーとして自社の技術・技能伝承活動を推進する技能承継の基本的事項を学びます。

▼STEP3 企業内の技術・技能承継トレーナーを育成するトレーナーズトレーナーとして必要な指導ポイントや実践指導のテクニックを実践的に学習します。【平成30年度実施予定】 ※1トレーナーを指導する立場にある上司やリーダー（技術・技能承継マイスター）

本講座の内容を詳しく知りたい方、ご興味をもたれた方、参加を検討したい方は下記までメール、ファックス、お電話にてお問合せください。

お問合せ 公益財団法人堺市産業振興センター 担当：経営支援課：小松、谷口 〒591-8025 堺市北区長曽根町183-5  
TEL 072-255-6700 / FAX 072-255-1185 / メール keiei\_shien@sakai-ipc.jp

## 「機械要素技術展(名古屋・東京)」に堺の優れた技術を持つ企業が出展!

堺市産業振興センターでは、新たな販路開拓を積極的に行う堺市内の中小企業を支援するため、大規模な集客が見込まれる機械要素・加工技術を集めた専門技術展「機械要素技術展」へ共同出展を行っています。

本年度は、優れた技術を有する堺のものづくり企業が、4月開催の第2回 名古屋 機械要素技術展(会場：ポートメッセなごや)に5社、第21回 機械要素技術展 東京(会場：東京ビッグサイト)に3社がそれぞれ出展しました。



\*平成29年4月開催、(名古屋)機械要素技術展の風景

機械要素技術展 オフィシャルサイト 主催：リードエグジビションジャパン株式会社  
<http://www.mtech-nagoya.jp/> (名古屋)  
<http://www.mtech-tokyo.jp/> (東京)

お問合せ 公益財団法人堺市産業振興センター 経営支援課  
TEL 072-255-6700 FAX 072-255-1185  
メール keiei\_shien@sakai-ipc.jp

## 堺市中小企業融資制度のご案内

より低利率の融資枠を設定!!

～創業者支援資金融資・中小企業活力強化資金融資～

成長産業分野やIoT/IT技術の導入にかかる設備資金を、**利率年1.0%**で融資しています。

～中小企業活力強化資金融資～

事業継続計画(BCP)に基づき、自然災害発生時に業務を継続するための設備資金を、**利率年1.0%**で融資しています。

※詳しくは、堺市のホームページをご覧ください。堺市産業振興センターまでお問い合わせください。

お問合せ・申込先 公益財団法人堺市産業振興センター 金融支援課  
TEL 072-255-8484 / FAX 072-255-5162 / (融資お客様専用フリーダイヤル) 0120-072-232  
堺市HPアドレス <http://www.city.sakai.lg.jp/> から「堺市中小企業融資制度」で検索してください

# 7月18日 さかいJOBステーション

## サンスクエア堺へ移転 ～サンスクエア堺が「堺で働く」

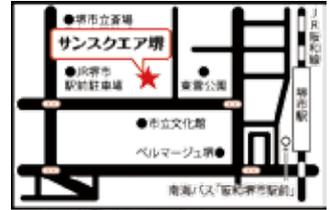
総合支援拠点としてパワーアップ!～

さかいJOBステーションは、7月18日(火)に、サンスクエア堺(JR阪和線 堺市駅前)へ移転します。

サンスクエア堺は、移転にあわせて、労働相談、福利厚生サービス、会議室等の利用、勤労者向け講座やジョブシップさかい就労相談などを実施する「堺で働く」総合支援拠点としてパワーアップします。

なお、現在地(堺区中瓦町2-3-24 博愛ビル2階、南海高野線堺東駅から約100m)のさかいJOBステーションは、7月14日(金)19時までご利用できます。

- ◆サービス内容
    - ・市内企業の人材確保、人材育成、人材定着支援(相談、情報提供、セミナーなど)
    - ・15歳～39歳までの若年者と全年齢の女性で働きたい方、働いている方を対象とした、就職支援や定着支援(相談、情報提供、セミナーなど)
  - ◆住所 堺市堺区田出井町2-1 サンスクエア堺A棟1階(JR阪和線 堺市駅から徒歩約300m)
  - ◆開館時間 火木金土 10時～19時(受付18時45分終了) 水曜10時～20時(受付19時45分終了)  
日、月、祝、サンスクエア堺の休館日、年末年始は休館
- TEL 072-238-4600 ※企業受付ダイヤル072-238-4750 URL <http://www.sakai-jobstation.jp/>  
※JOBステーション南サテライトは、南区役所3階で引き続き実施しています。



### 【さかいJOBステーション 移転記念イベント】(どなたでも参加になれます。 ※予約優先制)

・8月12日(土) 11時～16時 「おしごとラボ! ワタシのはたらく流儀」 サンスクエア堺 第1会議室で

### 【はたらくあなたを応援!】(就業中の15～39歳の方と女性向け、いずれもさかいJOBステーションで)

- ・8月15日(火)・17日(木) 19時～20時50分 「PCビジネス活用術 Excel編」
- ・8月16日(水)・18日(金) 19時～20時50分 「ビジネスに活かせるプレゼンテーション講座」
- ・8月19日(土) 14時～16時 「知らなかった!無理なく、自分でできる英語学習法」

### 【堺市内企業×大学コラボイベント】(企業の人事担当者・大学等のキャリア支援担当者の方向け、サンスクエア堺第1会議室で)

・8月22日(火) 13時半～17時 人事担当者と大学等のキャリア支援担当者による「産学交流会」

### 【企業向けセミナー(協賛イベント)】

- ・7月26日(水) 15時～17時 「ダイバーシティ経営戦略セミナー」東洋ビル(堺東駅前)で
- ・8月2日(水) 9時半～16時半 「女性向けキャリア・アップセミナー」サンスクエア堺 第1会議室で

求職者向けセミナーなどその他にも企画中です!

お問合せ 堺市雇用推進課 TEL 072-228-7404

## 貸会場のご案内

少人数でのミーティングから大規模イベントまで幅広く対応可能な14会場をご用意しております。

### ○ホームページに「ストリートビュー」を掲載

各会場内部を当センターのホームページから360度パノラマビューでご覧いただけます。

### ○イベントホール「シーズン割引」を実施

平成29年8月13日(日)～8月15日(火)の期間(開館時間は9時～17時)でイベントホールをご利用の場合、施設使用料の50%を割引致します。なお、直前割引(20%を割引)と重複する場合はシーズン割引のみを適用いたします。詳しくはお問合せ下さい。



▲イベントホール(ホール形式)



▲イベントホール(展示会形式)

堺市産業振興センター 貸会場お問合せ先 TEL 072-255-0111 センターホームページ (<http://www.sakai-ipc.jp/>)

中小企業を  
全力応援



公益財団法人

堺市産業振興センター

堺市産業振興センターでは、経営相談や技術開発支援、各種セミナーなど研修に関する事業、堺市内中小企業に対する融資関連事業、地場産業の紹介・製品展示・販路開拓に関する事業、情報誌やホームページ・メールマガジンなどによる産業情報発信、イベントホールや会議室などの貸出事業と多種多様なサービスでビジネスをサポートしています。

## さかいIPCプレス デジタルブック配信開始!

無料アプリ「カタログポケット」をインストールすると、スマートフォンやタブレットで簡単に閲覧できます。

iOS版  
ダウンロード



便利な機能がいっぱい!

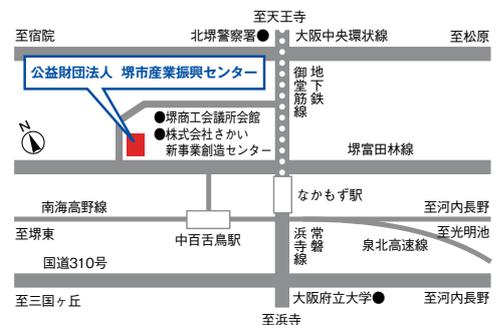
自動翻訳 本文音声読上げ

文字ポップアップ機能

※ブラウザ版は音声読み上げには対応していません。



Android版  
ダウンロード



◎南海高野線中百舌鳥駅より約300m◎地下鉄御堂筋線なかもず駅より約300m◎駐車場は、隣接の来客用駐車場(無料)がございますが、できるだけ電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

〒591-8025 堺市北区長曾根町183-5  
TEL.072-255-3311(代) FAX.072-255-5200  
<http://www.sakai-ipc.jp/>



## 最重要視するのは人材育成 技術者の層の厚さが強み

同社がとりわけ得意とするのは、分析評価です。10年間20万kmの走行にも耐えるだけの性能を確保するために、熱や振動、薬品、電圧、ノイズなど過酷な条件下での試験を繰り返し行う必要があります。これらの分析評価をトータルに実施できる企業は少ないといいます。さらにはそこで得られたデータに基づいて、素材や工法の提案まで行えるのが、クオルテックの強みと志方社長。

また、近年注目されている電気自動車でも重要なトランジスタ技術については、明確な規格も測定器もない中で、同社では評価のための測定器の設計から行っています。

こうした他社の追随を許さない高い技術力を発揮できる一番の理由として、



電子部品の接合部の「結晶方位解析装置」。元素の状態までを解析することができる。

志方社長は最新設備を整えていることと人材育成を掲げました。「弊社には、表面処理や基盤、半導体と各分野で何十年と技術畑を歩いてきた60～70代の熟練技術者と、事業を推進する40～50代の技術者、そして実際の検査を担っている若手の3世代で役割を分担しています。こうした層の厚さが日本のものづくりの強さだと思うんですね。弊社では次代を担う若手技術者の育成を最も重視しており、この春に入社した社員も、研修として12部門を全て体験させています。課題を与えて実験をさせ、翌週に発表してもらうわけですが、きちんとできなかった場合は、指導者の上司が叱られます(笑)。「我々が製品の安全性や環境保全を支えている」という社員の意識の高さもまた、弊社の強みといえますね」。



X線透視装置(右)とX線CT装置。

## 次代に向け注力するのは、 AIやバイオテクノロジー

かつて、高度経済成長期には“遊び”ともいえるさまざまな実験や試験を重ねていたことが、技術者の経験値を豊かにし、日本の技術力を高めてきたと考える志方社長。同社でも、暇があれば違う実験をさせ、経験を積ませることで技術力の向上を図っています。

今後の展望については、「とりわけ自動車産業においてはグローバル競争が激化しており、製品開発のスピードアップが求められています。そうした中で、弊社が果たせる役割はより大きくなっており、今後は、個々に委託されている分析評価をシステム全体で任せてもらえるよう、お得意先企業との信頼関係をより強固にしていきたいですね」と志方社長。

そして、自動車産業に続いて進出した産業分野として掲げられたのは、有機ELやAI、そしてバイオテクノロジー。その一つとして、ユニークなところでは、“愛犬・愛猫のDNA検査サービス”がスタートしています。

### 株式会社クオルテック

代表者名／代表取締役 志方 廣一  
 本社／堺市堺区三宝町4-230  
 TEL／072-226-7175  
 設立／1993年設立  
 資本金／8,500万円  
 従業員数／150名  
 事業内容／電子部品の不良解析・信頼性試験の受託  
 および新技術の開発、品質管理を中心とした工場経営・  
 実装技術に関するコンサルタント、レーザー加工・表面処  
 理(めっき)技術を中心とした微細加工  
<http://www.qualtec.co.jp/>





最表面数ナノメートルのレベルまで分析を行う「X線光電子分光器」。

## 万に一つも不良を見逃さない解析力

### 株式会社クオルテック

#### 不良品絶対ゼロの自動車業界で 絶大の信頼を得て

部品一つの不具合で大きな事故につながりかねない自動車製造業は、ものづくりの中でもとりわけ精度の高い品質が要求される産業領域です。加えて、昨今は環境基準も高くなっており、燃費をめぐる競争も激化。こうしたシビアな自動車産業を縁の下で支えているのが、(株)クオルテックです。

志方廣一社長は、家電メーカーなどで

品質改善や工法開発といった技術指導に携わったのちに、1993年に同社を設立。現在は、電子部品の不良解析や信頼性試験の受託のほか、新技術の開発や、品質管理・実装技術などに関するコンサルティングなど幅広い事業を展開しています。創業当初からの得意先は、大手ゲーム機メーカーや携帯電話メーカーで、なかでも携帯電話については、基盤の新たな製造方法の開発にも関わっていたのだとか。そして、12年前から自動車産業に進出。絶大なる信頼を得て、今

では国内自動車メーカー全社と取引しています。

「自動車業界は、1万個に一つでも不良品があってはならず、絶対ゼロの厳しすぎる世界です。だからこそ、競合が少なく、逆にチャンスだと考えました。しっかりとした技術でクリアすれば、高い信頼が得られるわけですから」と志方社長は語っています。

## SAKAIの傑作

### 高い安全性と機能を備えた ポータブル蓄電池

一見アタッシュケースや旅行用カートのように見えるのは、SAFETYポータブル蓄電池「SOLABO(ソラボ)」です。これまでは安価な海外製品が主流でしたが、防災面で安全性の担保された国産のポータブル蓄電池を求める声が高まり、トヤマキカイが2年をかけて開発。平成28年10月に発売されました。

バッテリー専門メーカーと共同開発した高性能なリン酸鉄リチウムイオンバッテリーセルを搭載しており、過酷な条件下で繰り返された試験もクリア。通常の使い方では発火や爆発の心配がないことが証明されています。家庭用コンセントから充電できるほか、オプションの折り畳み式太陽光パネルを使っての充電も可能なため、通信機器の電源確保など、災害時の活用が期待されます。屋外での使用に耐えられるよう、防水などの防護的機能も備えている上、埋め込まれたICチップで使用状況を随時チェックできることや、採用先の用途に応じてカスタマイズできることが「SOLABO」の他製品にない強みといえるでしょう。災害対策として、ソーラー街灯に「SOLABO」をセットした例もあるとか。今後は、イベント会場などでの臨時的な電源の需要に応じていきたいと考えています。

#### トヤマキカイ株式会社

代表者/代表取締役社長 茂渡 健  
設立/1963年創業 1973年設立  
本社/堺市中区大野芝町247-4  
TEL/072-235-6123  
資本金/1,000万円  
従業員数/20名  
事業内容/自動機的设计・製造(ソーラーパネル製造装置・ガラス成型機など)、蓄電池システムの設計・製造(ポータブルバッテリー-SOLABOシリーズ)、ロボットシステムの提案  
http://www.toyamakk.co.jp/



[SOLABO1500]と補助バッテリー [SOLABO2000]  
[SOLABO250]と補助バッテリー [SOLABO600]  
[CHIJI SOLABO120]